

国際看護研究会第8回学術集会(第38回国際看護研究会)

第38回国際看護研究会・第8回学術集会を開催いたします。本年も、各国の保健医療の状況や国内外での看護職の協力活動の実際、教育現場での実践など、様々な演題発表があります。また、ワークショップを2つ設けています。

当日は、国際看護の第一線で活躍する方から少しずつ関心をもち始めたという若い学生の方まで、幅広い年齢層と背景をもつ方々が同じ場所で同じ時間を共有し、共に考え、意見交換ができればと思います。皆様の積極的なご参加を心からお待ち申し上げます。

<日時> 2005年9月10日(土) 9:30 - 17:00

<会場> 独立行政法人国際協力機構広尾青年海外協力隊訓練所
東京都渋谷区広尾4-2-24 TEL:03-3400-7717

<学術集会会長> 鹿児島大学医学部保健学科 横川裕美子

<学術集会テーマ> 看護職における国際協力経験の意義

<<プログラム>>

第1会場 3階講堂

9:00-9:25 受付

9:25-9:30 出席者へのオリエンテーション

9:30-9:35 開会

9:35-10:25 基調講演

「看護職における国際協力経験の意義と今後の課題ー専門職として、人間としてー」

座長 森 淑江 群馬大学医学部保健学科

第8回学術集会会長 横川 裕美子 (鹿児島大学医学部保健学科)

第1会場 3階講堂

10:30-11:30 一般演題第1群 「協力活動の実際と効果」

座長: 戸塚 規子 (静岡県立静岡がんセンター)

1. ケニア国小児科病棟での看護活動ーペットボトルを利用した排泄への援助ー

桶屋 朋恵 (藤沢市医師会)

2. 教材本作成における青年海外協力隊活動の評価からの学び

須藤 晃代（群馬大学医学系研究科）

3. ミャンマー国におけるハンセン病患者セルフケア指導の取り組み

藤田 実香（国立国際医療センター）

4. 日本の技術協力「研修員受け入れ」の効果—ウズベキスタン「看護管理」コース研修員による自国での還元の実情から—

稲荷 陽子（自治医科大学看護学部）

11：35—12：05 一般演題第2群 「保健行動」

座長：中村 勝（山形大学医学部看護学科）

5. ニカラグアの伝統的産婆居住地における村人の保健行動

新井 忍（群馬大学医学部保健学科）

6. バングラデシュ、一農村の検診を受けた妊婦の特徴

大久保 麻矢（群馬大学医学系研究科）

12：05—13：00 昼休憩

13：00—13：30 平成17年度国際看護研究会総会（第1会場）

13：30—14：00 一般演題第3群 「国際理解を促進する看護教育」

座長：鶴岡 章子（三育学院短期大学）

7. 授業での国際化・国際協力を促す試み

芝山 江美子（弘前大学医学部保健学科）

8. 国際看護の授業におけるロールプレイングの試み

横川 裕美子（鹿児島大学医学部保健学科）

14：10—15：50 ワークショップ

「国際協力経験を次の活動へどう活かすか—看護職の国際協力のステップアップ—」

ファシリテーター 宮菌 夏美（鹿児島大学医学部保健学科）

スピーカー

国際協力活動を継続している立場から

成瀬 和子 (元 JICA スリランカ看護教育専門家)

青年海外協力隊から大学院へ進学した立場から

川田 紀美子 (東京大学大学院博士課程国際保健学専攻)

「国際緊急援助隊医療チーム活動を通して看護職の国際協力を考える」

大草由美子 (国立病院機構災害医療センター)

15 : 55－16 : 00 閉会 (第 1 会場)

16 : 00－17 : 00 茶話会 (どなたでも奮ってご参加ください) (第 1 会場)

第2会場 2階大会議室

10 : 30－11 : 00 一般演題第 4 群 「各国の保健医療の特徴 1」

座長 : 大野夏代 (埼玉県立大学)

9. タンザニアにおける伝統医療の実態

鶴岡章子 (三育学院短期大学)

10. 国際看護と民俗医療システム—マレーシア州 P 村を事例に—

宮藺夏美 (鹿児島大学医学部保健学科)

11 : 05－11 : 50 一般演題第 5 群 「各国の保健医療の特徴 2」

座長 : 横川 裕美子 (鹿児島大学医学部保健学科)

11. シドニーの高齢者施設における看護体験—The Bexley Centre でのボランティア—

柳澤 健太郎 (高崎健康福祉大学短期大学部)

12. 高齢者ケアに対する家族のサポート状況に関する研究—韓国の高齢者の実態と高齢者福祉に関する現状から—

関谷 葉子 (高千穂町国民健康保険病院)

13. 中国における看護事情

田 素斎（愛知県立看護大学大学院）

11：50－13：00 昼休憩

13：00－13：30 平成17年度国際看護研究会総会（第1会場）

13：30－14：00 一般演題第6群 「異文化看護」

座長：伊藤 尚子（元湘南看護専門学校）

14. スタディツアー参加による学生の異文化間看護能力の変化

望月美里（静岡赤十字病院）

15. 米国の看護教育における「文化間看護」－教科書「基礎看護学」のキーワードの分析の試み

大野夏代（埼玉県立大学）

14：10－15：50 ワークショップ

「国際協力を変えたもの－今の自分の看護に生きているもの－」

ファシリテーター 浅野 美智留（福岡県立大学看護学部）

スピーカー

「時間軸の中で、“文化はつる地に” 生きること」

石井 孝子（東京家政学院大学教授）

「女性として、看護師として生きること」

伊藤 尚子（元湘南看護専門学校）

「人間のもつ自己ケア能力」

北村 菜穂子（国立保健医療科学院専攻課程）

15：55－16：00 閉会（第1会場）

16：00－17：00 茶話会（どなたでも奮ってご参加ください）（第1会場）